

製品名: リボソームタンパク質 S6 (リン酸化 Ser235/S236) ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab05372

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	30kDa

抗原情報

遺伝子名	RPS6
別名	RPS6; OK/SW-cl.2; 40S ribosomal protein S6; Phosphoprotein NP33
遺伝子 ID	6194.0
SwissProt ID	P62753
免疫原	抗血清は、ヒト S6 リボソームタンパク質の Ser235 と Ser236 のリン酸化部位周辺の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 200-249

背景

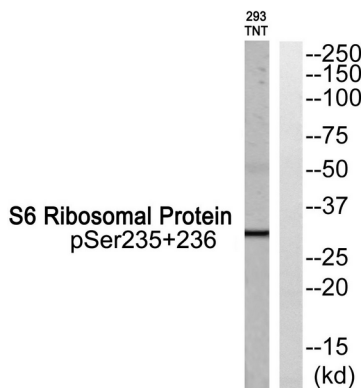
タンパク質合成を触媒する細胞小器官であるリボソームは、小さな 40S サブユニットと大きな 60S サブユニットから構成されています。

す。これらのサブユニットは、4種類のRNAと約80種類の構造的に異なるタンパク質で構成されています。この遺伝子は、40Sサブユニットの構成要素である細胞質リボソームタンパク質をコードしています。このタンパク質は、リボソームタンパク質のS6Eファミリーに属します。これはリボソーム内のタンパク質キナーゼの主要な基質であり、5つのC末端セリン残基のサブセットが異なるタンパク質キナーゼによってリン酸化されます。リン酸化は、成長因子、腫瘍促進因子、マイトジェンなど、幅広い刺激によって誘導されます。脱リン酸化は、成長停止時に起こります。このタンパク質は、特定のクラスのmRNAを選択的に翻訳することにより、細胞の成長と増殖の制御に寄与していると考えられます。リボソームタンパク質をコードする遺伝子に典型的に見られるように、複数のプロセスが存在します。機能: 特定のクラスのmRNAを選択的に翻訳することにより、細胞の成長と増殖を制御する上で重要な役割を果たす可能性があります。PTM: リボソームタンパク質S6は、真核生物リボソーム中のタンパク質キナーゼの主要な基質です。リン酸化は、成長因子、腫瘍促進因子、およびマイトジェンによって刺激されます。成長停止時には脱リン酸化されません。類似性: リボソームタンパク質S6eファミリーに属します。、

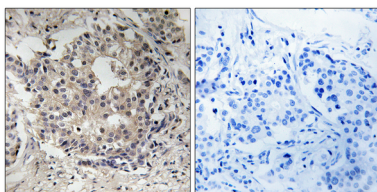
研究分野

リボソーム;mTOR;インスリン受容体;

画像データ



S6 リボソームタンパク質 (リン酸化 Ser235+Ser236) 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンには S6 リボソームタンパク質 (リン酸化 Ser235+Ser236) ペプチドでブロッキングされている。



S6 リボソームタンパク質 (リン酸化 Ser235+Ser236) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。右の写真は S6 リボソームタンパク質 (リン酸化 Ser235+Ser236) ペプチドでブロッキングした画像です。